



島根大学医学部附属病院広報誌

しろうさぎ

S H I R O U S A G I

2018

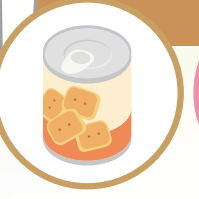
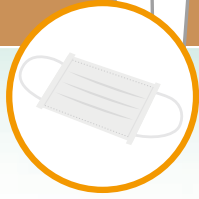
53

July.1

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

島根大学病院



Contents

特集 Special issue

『備えあれば憂いなし— 島根大学病院の災害対策』

④ 島根大学病院のライフライン

●会計課施設管理室 河津 建星

④ 災害時も安心—医薬品と非常食について

●薬剤部 石原 慎之

●栄養治療室 端本 洋子・矢田里沙子

④ インタビュー

●災害医療・危機管理センター センター長 渡部 広明

●医療サービス課 石井 邦彦



*プロジェクトM

*在宅医療を支えます

～民間NPOの「つよみ」を地域に活かす～

*私のここだけの話

*留学生の国自慢

*イベントなどのお知らせ

*ニュース&トピックス



島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

島根大学病院のライフライン



ライフライン①

どこでライフラインを管理しているの?

こんにちは! 会計課施設管理室の河津建星(かわつけんせい)です。今回は僕が島根大学病院のライフラインをご案内します。



中央機械室・管理センター



管理センターでは病院・学部のライフライン設備などを24時間対応で管理し、保守・点検・修理を行っています。室内には様々なパネルがあり、電気の使用量を確認したり、発電の重油の量を見たり、エレベータがどこを動いているか、また、火災の発生位置なども分かります。

ライフライン②

電気の供給はどのようにしているの?

重油を燃料とする自家発電機が常用・非常用合計7台あります。3号・4号発電機が常時735kW×2で発電し、この発電で出た熱を利用した「コ・ジェネレーション」システムを採用しています。また、地震や雷などで中国電力からの送電が停止した場合は、自動的に1号発電機(1200kW)が動き出し30秒程度で電気を送ることが可能になります。続いて2号発電機(800kW)、6号発電機(600kW)が稼働するため病院全体に電気を送ることが可能です。約3日間の重油の備蓄量があります。



常用発電機3号・4号



1号発電機

発電で出た蒸気や熱を利用してボイラーや冷温水器を動かし、冷暖房や水を温めてお湯を作っています。



2号発電機

中国電力から送られた電圧66,000Vを、ここでいったん6,600Vに落とし、各建物に割り振ります。



変圧器



配電盤

最終的には100V、200Vにして各部屋へ供給します。

ライフライン③

いざというとき、水は大丈夫?



出雲市水道局から購入している「上水」(飲料水用)のタンク。水道局が断水した場合でも約1日分の備蓄量があります。

地下約50mから汲み上げた井戸水(「井水」)のポンプ。井水は水道・トイレなどに使用しています。



使用後は...

大学構内には排水を浄化する施設があります。ここできれいにした水は「中水」と呼ばれ、再びトイレを流す水などに使われます! 水を無駄にしないエコな取り組みを行っています。



ライフライン④

酸素や医療ガスも備蓄しているの？



屋外の液化酸素タンク
(液化酸素は約7日分の備蓄量)



パイプを通して建物の
中のタンクへ

地下共同溝の配管



病院では、治療のため、また、医療器具の動力として、酸素などの医療ガスが使用されています。酸素は屋外のタンクから建物の地下共同溝を通して各部屋に供給されています。

各病棟の部屋へ

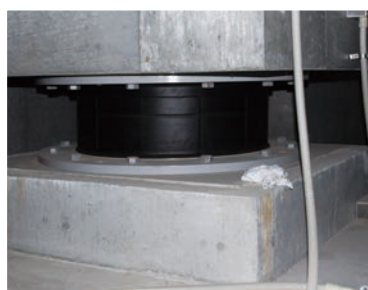
マニフォールド室



災害時のために医療ガスをボンベで備蓄しています。約1～2日分の備蓄量があります。

ライフライン⑤

建物は大丈夫？



C病棟の地下にあるゴム製の柱（左）とダンパー（右）。多数の柱とダンパーが9階建てを支えています。地震が起きた場合、柱のゴムとダンパーが揺れを吸収します。



C病棟は免震構造で震度7にも耐えられます！A・B病棟は耐震構造で震度6強まで大丈夫！

お疲れ様
でした！



島大病院のライフラインのツアーはいかがでしたか。病院機能はこのような設備で支えられています。災害が起こったときでも、ライフラインをイメージして落ち着いた対応ができるよう、職員向けの研修会を今後も定期的に行います！

災害時も安心—医薬品と非常食について

医薬品の備蓄について

薬剤部では常時約1,800種類の医薬品を扱っています。院内の「災害対策マニュアル」では、医薬品は3日程度の使用分を確保することになっており、**通常在庫**（通常診療のために在庫している数量）とは別に**備蓄在庫**（災害時の搬送傷病者へ対応するための数量）を常備しています。点滴に使用する輸液や外傷時に使用する局所麻酔剤は通常の2～3倍の数量を備蓄し、消毒剤も大量に保管しています。使用期限も確認しながら、厳重な管理のもと医薬品を適正に保管しています。

薬剤部

いしはらのりゆき
石原 慎之



災害時でも栄養バランスのとれた 非常食を提供します

はしもと ようこ やた りさこ
栄養治療室 端本 洋子・矢田里沙子

災害時、調理ができなくなったときのために、600床（患者さんほぼ全員分）3日分と、職員の1日分の非常食を備蓄しています。1日目は、カロリーメイトなど配布に時間を要しないものから配布します。災害時は時間の経過とともに、不安やストレスが増えますので、それらのことを食事で軽減していただけるようにバリエーションを考え、できるだけ美味しく、1日に必要なカロリーを満たすような非常食の提供計画を作成しています。職員用の非常食の備蓄は1日分ですので、各自が非常食袋を準備して常に備えてください。



一人でも多くの命を救うために

災害医療・危機管理センター: DiMCOC (ディムコック) ^{わた なべ ひろ あき}
センター長 **渡部 広明** 教授



Q. 島根大学病院の災害医療・危機管理センター: DiMCOC (ディムコック) について教えてください。

A. 島根大学病院には「災害対策マニュアル」があります。DiMCOC は災害が起きたとき、指揮を執る災害対策本部長への助言をし、職員にマニュアルどおりに動いていただくための支援をします。災害対策マニュアルがあっても内容を把握している人はあまりいないと思いますが、DiMCOC 構成員がマニュアルを理解していることで、本部機能をうまく動かすことができます。DiMCOC は災害時だけではなく災害に備えて常時活動しており、DiMCOC 会議は月一回開催されています。

Q. 災害派遣医療チーム: DMAT (ディーマット) について教えてください。

A. DMAT は日本 DMAT の資格を持った災害医療のスペシャリストで、1 チームが 4 ~ 5 人で編成されます。現在、当院には 4 チームあります。被災地から派遣要請があり、病院長の許可が出た場合に出動します。

DMAT の本当の役割は、真っ暗なところに明かりをとめていくように、災害で失われたエリアの病院の救急医療システムを数時間のうちに再構築していくことです。病院機能を再構築した後、周辺の病院の状態を EMIS (イーミス: 広域災害救急医療情報システム) で確認し、機能している病院に別の DMAT 隊を派遣し、患者さんを治療できる病院へ搬送します。

Q. 今後の島根大学病院の災害医療について教えてください。

A. DiMCOC の設置は、災害医療を行えるようになったという初めの一步にすぎません。当院は災害拠点病院ですので、他地域の患者も受け入れるという使命があります。訓練を生かし、マニュアルを改善して、災害医療体制をさらに整えていくことが大切です。



島根大学病院
「災害対策マニュアル」

BCP(事業継続計画)について

医療サービス課 ^{い し い く に ひ こ}
石井 邦彦



BCP: Business Continuity Planning (事業継続計画) とは…災害(地震)などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続と早期の復旧を図るための計画。島根大学病院のBCPでは、災害時でも最低 3 日間は病院機能を維持できるよう計画されています。

Q. 島根大学病院BCP(事業継続計画) はどのようにして作成されましたか。

A. すでに作成している他大学のBCPや島根県防災対策マニュアルを参考に、当院の独自の内容にしました。目次だけで1週間、内容に2週間、文章に2ヶ月、全部で3ヶ月程度かかりました。

部署ごとに責任をもって対応する内容(行動計画)を盛り込むため、病院の様々な部署から集まっていた 25 名のワーキングメンバーの協力を得て、作成を分担いただきました。施設管理室の担当者には、ライフラインの図を作成していただき、見てすぐに理解していただけるような工夫をし、会議を何度も経て完成しました。

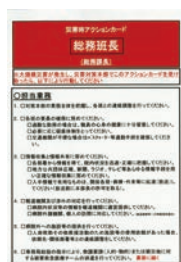
Q. BCPの維持管理について教えてください。

A. 今後、災害拠点病院はすべて BCP を策定しなければなりません。策定後も、災害対策マニュアルに従った訓練と、BCP の見直し、BCP にもとづく定期的な訓練が必要です。訓練時の対応を検証して、さらに、BCP の内容も高めていかなければなりません。

Q. 想定外への備えは。

A. ハード面(設備)の備えはもちろんですが、ソフト面(人的な対応)も重要です。災害時、災害対策本部では職員は「災害時アクションカード」に従って行動します。災害拠点病院の職員として、「災害対策ポケットマニュアル」を常時携帯し、訓練に積極的に参加し、災害時にどのように行動すればよいかを、平時から知っておくことが大切です。

最後になりましたが、当院 BCP の作成にご尽力いただいた方々に、心より感謝いたします。



災害時アクションカード (例)



災害対策ポケットマニュアル
(事務職員用)



島根大学病院 BCP
(事業継続計画)

冬の朝、目覚めると、木の香りと味噌汁の匂いがする。窓から外を眺めると、昨日から降っていた雪は、もう腰のところまで積もっていた。いつもなら、晴れた日の美しい銀世界を目にして人一倍はしゃぐ少年が、この日は少し憂鬱な気持ちになっていた。

3 話 連 載

第1話

「原 点」

奥出雲

奥出雲の冬は雪深く、長い。

昔はたたら製鉄で栄え、小説『砂の器』の舞台となった、仁多郡横田町に、昭和37年、整形外科教授の内尾祐司は生を受けた。

ものごころがついたころから、社宅とはいえない長屋の隣の作業場からはいつも木の香りがした。ジャラジャラ、ザクザクというそろばん珠の音の中、数人の職人さんが忙しく手作業をしている。いくつもの工程を経てでき上がった算盤（そろばん）は、指でパチパチとはじかれ、その音は耳に小気味よい。

ものづくり

『雲州そろばん』は、国の伝統工芸品で奥出雲から全国に出荷されている。かつては、横田町にはいくつもの算盤工場があり、内尾家もその従業員として働いていた。父は、算盤を作る職人であり、算盤を全国の学校に販売するための販売員でもあった。1年のうち 2/3 は、当時簿記算盤は必修であった商業高校に、算盤を千丁もトラックに積んで工場から届ける仕事をしていた。夏休みには、祐司は父の出張にトラックの助手席に座って、瀬戸大橋もなかった時代、宇高連絡船に乗って四国の高校回りについて行くことが何よりの楽しみであった。

祐司は、この母も事務員として働いている算盤工場の作業場で遊ぶのが大好きだった。職人さんたちはいつもここにいた。

毎日、学校から帰るとすぐに作業場へ行き、ダンボールや余った木を使って、車、船、ロボット、建物などや、ちょっとしたおもちゃを自分で作る。なにかしら完成すると、今度は勢いよく外に出て、近所の子もたちを集めて、自然の中で実際に動かし、競争させて遊んだ。小さな子には、10 円で買ったパンの耳ばかりの袋からパン切れを渡し、自分で作ったおもちゃをあげて喜ばせた。

こうして、昭和のゆったりとした時は流れ、祐司は、奥出雲の清涼な空気と水と、恵まれた自然の中で両親の愛情を受け、近所の子もたちのリーダーとして育っていった。

しかし、高度成長期、あの『サンキュッパ』の電卓登場による技術革新の波がくるにつれ、算盤工場の経営は、決して易しいものではなくなってきた。祐司が小学生の頃、すでに家計は苦しかったが、子どもに不自由さまいと懸命に働いていた両親を見ていた彼は、学校で必要な学用品のことも口に出せずにいた。

父の心

その年も冬が来て、雪が積もった。朝起きて外を見た祐司は、「ああ、雪が積もつとるけん、体育の授業はスキーだ。でも、スキーの道具がないなあ。授業に出られん。どげしよう。」布団に戻り、しばし考えていると、母から「ゆうじ、起きーだわ。」と呼ばれた。

なんだろう、と思いつつ、しぶしぶ作業場に行くと、そこには、父が座っていた。

「これは？」

「竹で作ったスキー板だ。竹の節も削ってある。竹をあぶってあるから油も出て、よう滑るけん。そろばん工場のモーターのベルトの端切れを輪っかにして足を載せるところにつければ、長靴でワンタッチで入るぞ。父ちゃんの手にかかれば、こんなのはチョチョイのチョイだ。ないものはつくればいい。ちょっと扱いにくいかもしれないが、滑れるけん。授業で使うくらいなら十分だ。」

竹のスキーを学校に持って行くのは少々恥ずかしかったが、祐司は父が手作りしてくれたことを誇りに思っただけで滑った。こうして、祐司は無事、スキーの授業を受けることができた。（難点といえば、エッジがきかず、ジャンプして方向転換しないといけないうこと、真竹で作ったストックは輪が無く、いくらでも雪に刺さることだった…）

学校から帰ってから、

「お父ちゃん、ありがとう。竹スキー、よう滑れたけん。」と伝えと、

「祐司の祐は、天や神さまの助けがある、そして人の助けになるという意味だ。司は皆のリーダーになるということ。」ゆう” の字は裕福の裕じゃなくて、すまんかったがなあ。」

父はそう言って笑い、祐司の頭をなでた。

自然の恵みと、両親の思いやりに包まれた環境で、ものづくりマインドが育まれた内尾祐司の少年時代。次回、青年に成長していく祐司は、どのような道を歩んでいくのか。乞うご期待！

内尾祐司幼少のころ



在宅
医療

を支えます



民間NPOの「つよみ」を地域に活かす

わたなべ なお き
NPO法人コミュニティサポートいずも理事長 渡部 直樹



「私たちは、福祉事業を通して地域の日常と希望を支えています。」を経営理念として、県内14か所の事業所を拠点に200人の職員が働いています。

私たちは、民間NPOの柔軟性を活かした運営で、特徴（つよみ）ある事業所創りを心掛けてきました。

例えば、穂なみ介護支援事業所では20人の職員体制で2人から4人のケアマネジャーがチームを作って一人の患者さんを担当できるようにしています。CSいずもヘルパー事業所は、福祉タクシー認可を受けており、介助と有償運送を合わせて実施できます。また医療的ケアの実施について、知事による許可を受けたヘルパーが多数在籍しています。

私たちが大事にしていることは、①職員さんが明るく元気で働き続ける職場環境を整えていくこと。②「心の経営」を目指す他の事業者さんらとも積極的につながり共に学び共に成長することです。

私のここだけの話

「我が家の家族」

せのお ゆきお
学務課 課長補佐 妹尾 幸夫



我が家には、犬がいます。リビングに居ます。長女が高校生の時、犬を欲しがり、その後大学・就職と県外に出ましたので、ほとんど私たち夫婦（ほとんど妻）が面倒を見ている。

昨年の2月に、家から飛び出した犬（ハル・コーギー）を、事もあろうか飼い主である私が車で轢いてしまいました。車が乗り上げたものの骨盤に守られ、奇跡的に命に別状はありませんでしたが、家族からは冷たい目で見られ犯罪者扱いでした。

鳥取大学動物医療センターで診ていただきましたが骨折箇所が複数ありました。しかし、手術はしなくてよいとのことでもそのまま連れ帰りました。犬の強靭さに驚くとともに、後ろめたさから、それ以後とてもやさしくかわいがっていますが、見透かされているようです。

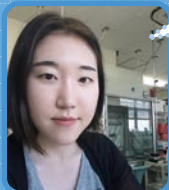
犬は妻が大好きです（私には知らん顔ですが）。家族の上下を位置付けているのがよくわかります。13年も一緒に居ますが、彼女とはこれからよい関係で居ようと思っています。

留学生の



自慢

微生物学講座
キム・ヒョジさん



今回は**韓国**のキム・ヒョジさんに母国について紹介していただきました。

こんにちは。韓国出身のキム・ヒョジです。今回は私が生まれ育ったソウルを紹介します。ソウルは韓国の首都で、娯楽の中心です。たくさんのお祭りや多様なテーマパーク、史跡、ショッピング街、レストランがあります。山に囲まれたこの魅力的な街の中心には、漢江が流れています。

歴史とともに歩んできたソウルですが、現在は都会的な高層ビルと歴史的な建造物が見事に調和しています。毎年、ソウルの宮殿では特別なナイトタイムビューイングが行われ、訪れる人は、その地域を取り巻く歴史や文化にひたり、すばらしい宮殿の夜景を楽しめます。私が特におすすめするのは、清溪川（チョンゲチョン）です。人気の文化芸術の場チョンゲプラザを起点とし、22の橋を通り抜け、漢江に合流するまで、たくさんの楽しみに出会えます。清溪川へは公共交通機関で簡単に行くことができます。もちろん夜も運行していますから、ソウルの夜景はとても美しく、街は眠ることがありません。

最近では、キムチ、ビビンバ、スンドゥブ・チゲ、焼肉などの韓国料理はどこでも、たくさん見かけられます。韓国料理のよいところを一つ挙げるなら、韓国人がほとんど毎回の食事だけでなく、パンチャンと呼ばれるサービスのおかずです。韓国のレストランで料理を注文したら、パンチャンがいくつかついてきます。レストランのタイプにもよりますが、だいたい4～5種類が出てきます。これらはなんと無料で、何度でもおかわりできます。はじめは、たいていの旅行者がいぶかしく思うのですが、だんだんこの文化が大好きになります。韓国で食事をすれば、素敵な時間が過ごせますよ。



イベントなどのお知らせ

島大病院 ちょっと気になる健康講座

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

当院に来院される患者さんや一般市民の方の健康づくりにすこしでもお役立ていただきたいとの思いから、健康や医療に関するミニ講座を定期的開催しています。予約不要で途中参加・退出も自由です。どうぞお気軽にご参加ください。

実施内容は下記のとおりです。

対 象 患者さんほか一般市民 **場 所** 外来1階 外来待合ホール

時 間 11:00～11:30



回数	月 日	担 当	講 師	テーマ
第223回	7月 5日(木)	看護部(循環器)【心不全シリーズ4】	大矢菜穂子	もっと気になる心不全～大切な生活管理のこと～
第224回	7月12日(木)	放射線治療科	玉置 幸久	ここまで進んだ最新の放射線治療
第225回	7月19日(木)	皮膚科	太田 征孝	水虫・爪水虫について
第226回	7月26日(木)	呼吸器・化学療法内科	堀田 尚誠	肺炎予防のためのワクチン接種
第227回	8月 2日(木)	栄養治療室【心不全シリーズ5】	飯田 香澄	もっと気になる心不全～美味しく減塩～
第228回	8月 9日(木)	消化器内科	岡田真由美	便秘外来へようこそ!
第229回	8月16日(木)	放射線部	麻生 弘哉	ここまでみえる。最近のMRIはこんなにすごい!!
第230回	8月23日(木)	腎臓内科	江川 雅博	未 定
第231回	8月30日(木)	救命救急センター	瀧波 慶和	熱中症について
第232回	9月 6日(木)	認知症疾患医療センター	長濱 道治	もの忘れのお薬について
第233回	9月13日(木)	光学医療診療部	佐藤 秀一	エコーを使ったお腹の病気の治療
第234回	9月20日(木)	乳腺・内分泌外科	未 定	未 定
第235回	9月28日(金)	検査部	塩田 由利	未 定

病院ボランティアコンサート開催予定

- 7月13日(金) 安来節保存会斐川支部
- 7月27日(金) きすきハーモニカクラブ
- 8月17日(金) 島根大学邦楽部
- 9月 7日(金) 「こころ音」雅楽会
- 9月21日(金) 島根大学フローラ室内楽団



☆都合により、内容・時間等を変更する場合があります。

☆演奏曲目等詳細は開催前適時に、病院内掲示・チラシでお知らせします。

開催時間：19時から 開催場所：附属病院1階外来待合ホール

島大病院 ちょっと気になる健康講座 放送予定 (出雲ケーブルビジョン)

平成30年7月放送

整形外科 助教 桑田 卓
放送内容：
「人工膝関節ってなに?」



院内にファミリーマートがオープンしました。

ニュース & トピックス
NEWS & TOPICS

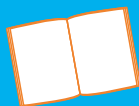
長らく親しまれたローソンからおもいやり精神をひきつぎながら、デザインもナチュラルに一新し、5月1日、院内売店が「heartful FamilyMart」として生まれ変わりました。

通常商品に加え、医療用品も各種取り揃え、「ゆうちょ銀行 ATM」(一部時間帯手数料無料)を導入するなど、サービスもより一層充実させました。

新しく「サービスルーム」も設置しました。ここでは、医療用ウイッグや電動車いすなどの介護用品などを実際にお試しいただけます。

当院はこれからも患者さんや病院をご利用いただく方々に喜ばれるサービスを提供して参ります。どうぞお気軽にご利用ください。





島大病院 書籍のご紹介



第4弾

好評発売中！

島大病院・1年分の健康講座を
この1冊にまとめました。



about disease



about health



about hospital facility

島大病院

ちょっと気になる

健康講座4

Shimane University Hospital Lectures on Health

島根大学病院の
スタッフがわかり
やすく解説します。

病気、健康、
病院施設・
検査機器のはなし

- ◆ もの忘れと車の運転
- ◆ 知っていますか？ 冬の食中毒
- ◆ 歯周病と全身疾患 など

47
項目

監修・編集：島根大学医学部附属病院

発売：今井出版

A5判／並製本／154頁／オールカラー 定価：本体 926円＋税



編集後記

4月9日深夜、島根県西部を震央とした地震が発生し、出雲市では震度5弱を記録しました。島大病院には緊急災害対策本部が設置され、多数の職員が参集し、患者さんの病状確認・施設の状況・職員の安全確認などの情報収集を行いました。

災害拠点病院の島根大学病院は、一人でも多くの命を救うという、大きな役割を担っています。職員は災害対策ポケットマニュアルを携帯し、訓練に積極的に参加して、常に意識を高めておくことが大切です。



4月9日緊急災害対策本部の様子

【編集者より】

島根大学医学部附属病院広報誌

しろうさぎ
についてのお問い合わせ先

(このQRコードで携帯から島根大学病院ホームページが見られます！)

医学部総務課 企画調査係 広報担当

☎ 0853-20-2019

✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

🌐 <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

